

Web Caster FT5000

Universal Plug & Play (UPnP)、固定 IP アドレス対応

- 【対応機種】** Web Caster FT5000 アクセスポイント
- 【ソフト名】** Web Caster FT5000 ファームウェア Ver.2.10 以降
Web Caster FT5000 ユーティリティ Windows®版 Ver.2.10 以降
- 【著作権者】** NTT 東日本・NTT 西日本
- 【対象ユーザ】** 上記の Web Caster FT5000 アクセスポイントをご使用のお客様
- 【転載条件】** 転載禁止

Windows® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

以降、本書では、Universal Plug & Play を UPnP と記述します。

もくじ

	ページ
はじめに	1
1 パージョンアップでご利用になれる機能について ..	2
2 Windows Messenger / MSN Messenger を利用する (UPnP 機能)	3
2-1 UPnP 機能について	3
2-2 Windows Messenger / MSN Messenger について	4
2-3 パソコンの設定を行う	5
2-4 本商品の設定を行う	12
3 固定 IP アドレスを利用する (複数アドレス拡張機能) .. .	14
3-1 固定 IP アドレス (複数アドレス拡張機能) を利用するには .. .	14
3-2 本商品の設定を行う	15
3-3 パソコンの設定を行う	17

はじめに

本書では、Web Caster FT5000 アクセスポイントをバージョンアップして新たにお使いいただける下記の機能について説明しています。

- ・ UPnP 機能
- ・ 固定 IP アドレス（複数アドレス拡張機能）

※ 設定を始める前に当社ホームページから最新のファームウェアとユーティリティを入手し、バージョンアップを行っておいてください。

Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。

Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

1 バージョンアップでご利用になれる機能について

Windows Messenger や MSN Messenger を利用する (UPnP 機能)

本商品とパソコンの UPnP 機能 (Universal Plug & Play: ユニバーサルプラグアンドプレイ) を、それぞれ「使用する」に設定すると、特殊な設定を行わずに複数台のパソコンで Windows Messenger や MSN Messenger をご利用になれます。

ただし、本商品の UPnP 機能の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンを「使用する」の設定にすることでご利用になれます。

<ご注意>

UPnP 機能は、Window® XP または Windows® Me のパソコンでのみご利用になれます。

- ※ Windows ®95/98/2000/NT4.0で、MSN Messenger 4.6をご使用の場合には、「電話をかける」・「インスタントメッセージ」はご利用いただけません。
- ※ 「電話をかける」サービスは、別途 ADSL接続事業者とのご契約が必要です。
- ※ フレッツ・ADSLなどのPPPoEが使用できる環境では、PPPoEブリッジを使用することで、1台のパソコンのみでUPnP機能をご利用いただけます。
- ※ 本商品とパソコンをUSB-LANで接続している場合は、お使いのUSB-LANドライバをアンインストールしたあとで、最新のUSB-LANドライバをインストールする必要があります。

固定IPアドレスを利用する (複数アドレス拡張機能)

プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定IPアドレスを、本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、「グローバルIPアドレスによるサブネットワーク」を構築できます。

複数のグローバルIPアドレスを付与するサービス (固定IPサービスなど) を利用して、複数のインターネットサーバ公開などが可能になります。

- ※ 固定IPアドレスをご利用の場合は、「無通信監視タイマ」は無効になります。
- ※ 固定IPサービスは、本商品の動作モードが[PPPoE モード]の場合のみご利用になれます。

2 Windows Messenger/MSN Messenger を利用する(UPnP 機能)

【 2-1 UPnP機能について 】

本商品とパソコンの UPnP 機能をご利用になると、複数台のパソコンで Windows Messenger や MSN Messenger をご利用になれます。

UPnP 機能をご利用になるには、本商品とパソコンでの設定が必要です。

ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますのでそのままご利用になれます。

「UPnP」(Universal Plug & Play : ユニバーサルプラグアンドプレイの略) とは、XML 技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式です。

この機能を利用して、Windows® XP の"Windows Messenger" サービスなどの UPnP 機能対応アプリケーションを、NAT による IP アドレスやポート番号の変換を気にすることなく、しかも複数のパソコンから同時にご利用になれます。

< ご注意 >

UPnP 機能は、Windows® XP、Windows® Me のパソコンでご利用になれます。

UPnP 機能はブロードバンド環境でご利用ください。

固定IPサービスとの併用はしないでください。

UPnP機能を安定してお使いいただくには、UPnP機能を使用するパソコンは5台以下を推奨します。

【 2-2 Windows Messenger / MSN Messenger について 】

Windows® XPの場合は、Windows Messenger 4.6をインストールしてください。

Windows® Meの場合は、MSN Messenger 4.6をインストールしてください。

Windows Updateからダウンロード、インストールできます。

Messengerの各機能のうち使用できる機能は、下記の通りです。

○：使用できます。

×：使用できません。

	Windows Messenger Ver 4.6 (Windows® XPをご利用の場合)	MSN Messenger Ver 4.6 (Windows® Meをご利用の場合)
電話をかける		
インスタントメッセージ		
ファイル転送		
音声チャット		
ビデオチャット		機能無し
アプリケーション共有		機能無し
ホワイトボード		機能無し
リモートアシスタンス (ファイル転送機能)		機能無し

<ご注意>

「電話をかける」「インスタントメッセージ」については、UPnP機能に対応していないパソコンでもご利用になれます。ただし、MSN Messenger 4.6をご利用ください。

「電話をかける」サービスは、別途 ADSL 接続事業者とのご契約が必要です。

MSN Messenger/Windows Messengerにサインインしたのに相手側にオンライン状態が認識されない場合や、音声チャット・ビデオチャットにおいて招待が通知されない、承諾しても音声・ビデオチャットが開始できない場合は、いったんサインアウトし、再度サインインし直してください。これで状態が変わらないときは、いったんMessengerを終了させてから実行し直してください。それでも状態が変わらないときは、パソコンを再起動し直してください。

<お知らせ>

NetMeeting では、UPnP 機能をご利用いただけません。

【 2-3 パソコンの設定を行う 】

Windows® XPの場合

設定の前にWindows Updateで修正ファイルをインストールする必要があります。

修正ファイルをインストールしないとWindows Messengerの「電話をかける」機能が使用できません。

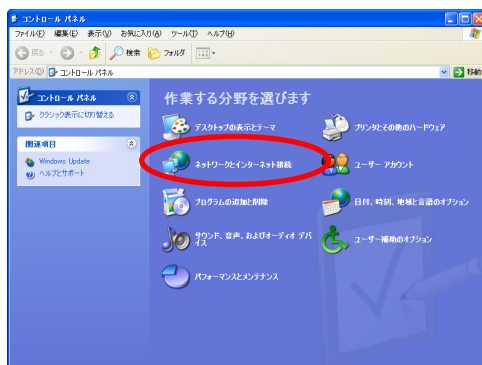
[スタート] - [マイコンピュータ] をクリックし、Windows® XPをインストールしたドライブの [Windows] から [system32] をクリックする。

[rtc.dll] の更新日時が2002/02/10以降になっていれば更新済みです。

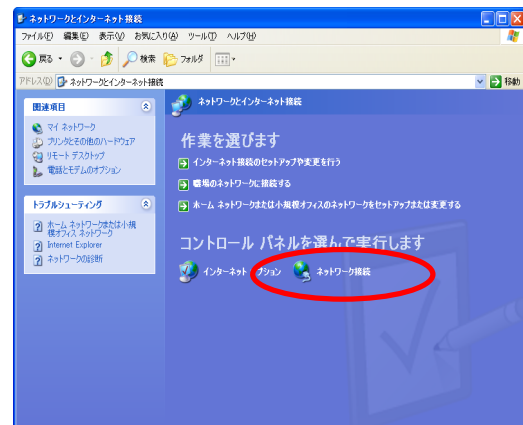
ファイルが古い場合は [スタート] - [コントロールパネル] の関連項目の [Windows Update] を選択し、 [インストールする更新の選択] をクリックして一覧から、 [Windowsメッセンジャのオーディオに関連するアップデート] をインストールしてください。

1 . [スタート] ボタンをクリックし、
[コントロールパネル] を選択する

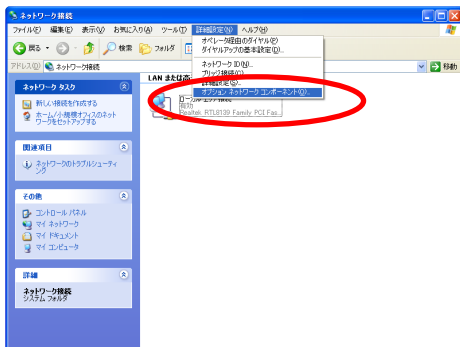
2 . [ネットワークとインターネット接続] アイコンをクリックする
コントロールパネルは [カテゴリ表示] にしてください。



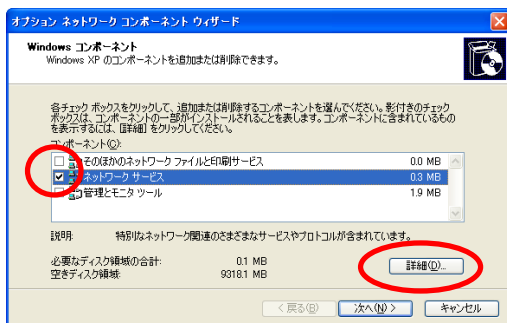
3 . [ネットワーク接続] アイコンをクリックする



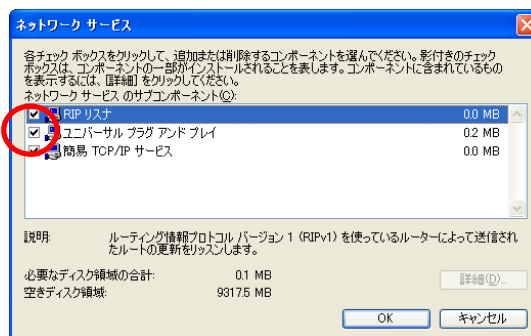
- 4 .メニューの[詳細設定]をクリックし、
[オプションネットワークコンポーネント]を選択する



- 5 .[ネットワークサービス]にチェックを入れ、[詳細]をクリックする



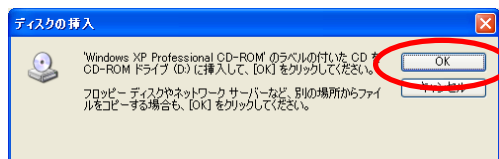
- 6 .[ユニバーサルプラグアンドプレイ]
にチェックを入れる



- 7 .[OK] をクリックする

- 8 .[次へ] をクリックする

- 9 . 次の画面が表示された場合は、画面の
指示に従って [OK] をクリックする



以上でパソコンの UPnP 機能は動作します。

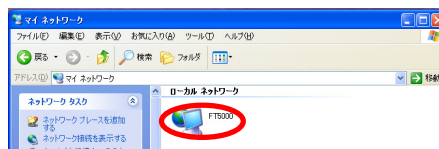
本商品の UPnP機能の設定は、初期値で「使用する」になっています。

(本商品の設定については、本書の「2-4 本商品の設定を行う」をご覧ください。)

「アクセスマネージャ接続」でインターネットに接続し、Windows Messenger 4.6をご利用ください。

本商品の UPnP 機能が正常に動作すると、下記のアイコンが表示されますが
[マイネットワーク]の[FT5000]アイコンはご使用になれません。
インターネットへの接続は「アクセスマネージャ」をお使いください。

[マイネットワーク]画面は
[スタート] [マイネットワーク]を
クリックすると表示されます。



UPnP機能を停止したい場合

UPnP機能を停止したい場合は、下記の2つの操作を行ってください。

- ・ P.6の手順6の[ユニバーサルプラグアンドプレイ]のチェックを外す。
- ・ アクセスポイントマネージャを起動して、[基本設定]タブの[UPnPを使用する]のチェックを外す。

Windows® Meの場合

設定前に、DirectX8.1をインストールしてください。

自分のパソコンにDirectX8.1がインストールされているかを下記の手順で確認します。

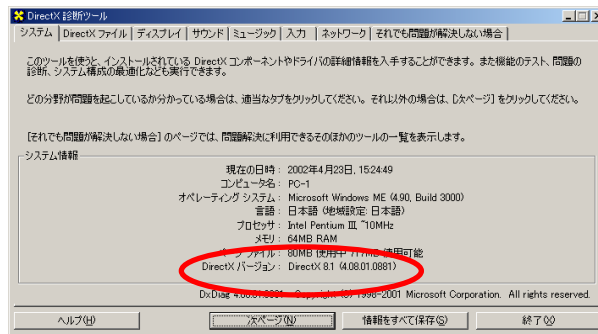
[スタート] [ファイル名を指定して実行]をクリックする

「dxdiag」と入力する

[OK]をクリックする

システムタグの下の方に「DirectXバージョン:DirectX*.＊」と表示されます。

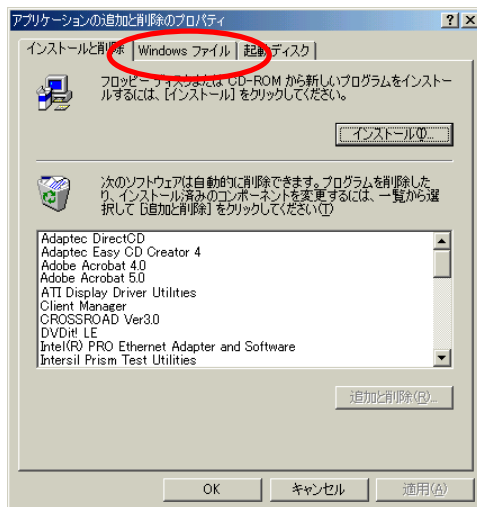
もし古い場合は、Windows Updateからダウンロードしてインストールしてください。



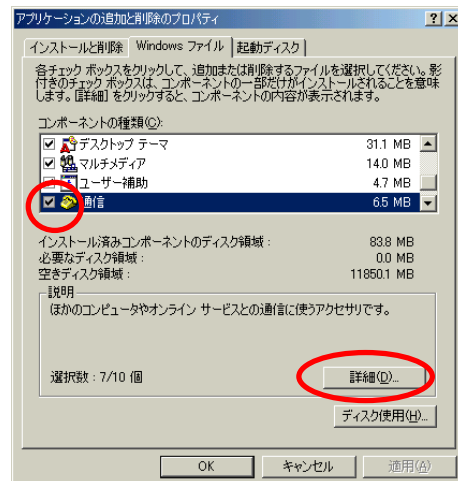
1 .[スタート]をクリックし、[設定]
[コントロールパネル]を選択する

2 .[アプリケーションの追加と削除]を
ダブルクリックする

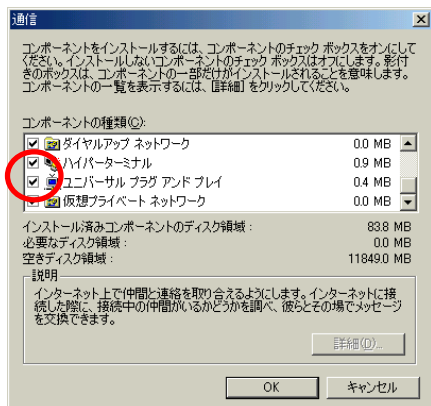
3 .[Windows ファイル] タブをクリック
する



4 .[コンポーネントの種類] 欄で [通信]
を選択し、[詳細] をクリックする



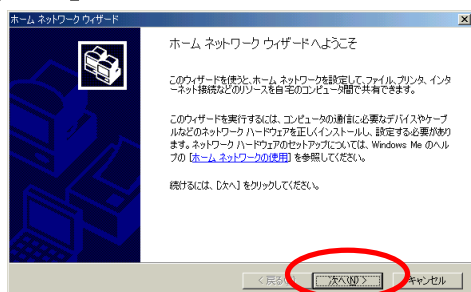
5 . [コンポーネントの種類] 欄で [ユニバーサルプラグアンドプレイ] にチェックする



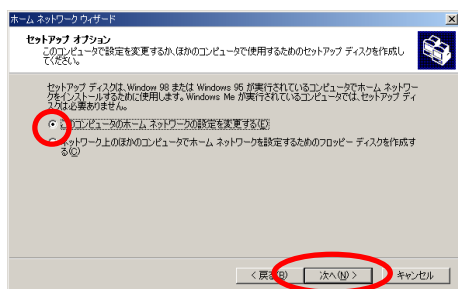
6 . [OK] をクリックする

7 . [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] [アクセサリ] [通信] から [ホームネットワークウィザード] を選択する

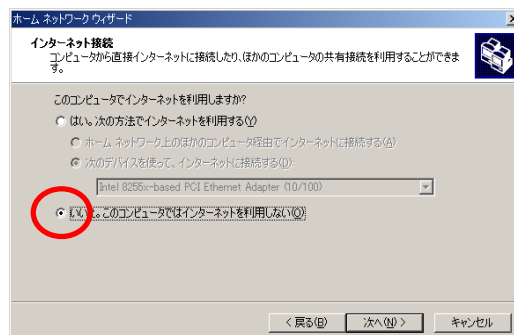
8 . [次へ] をクリックする



9 . この画面が表示された場合は、[このコンピュータのホームネットワーク設定を変更する] を選択し、[次へ] をクリックする

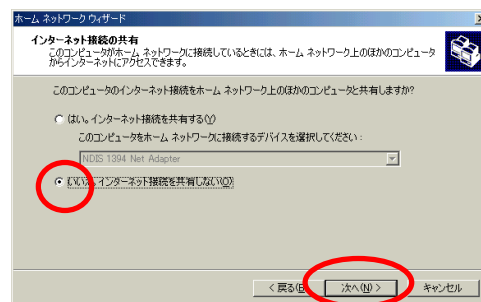


10 . [いいえ、このコンピュータではインターネットを利用しない] が選択されていることを確認する

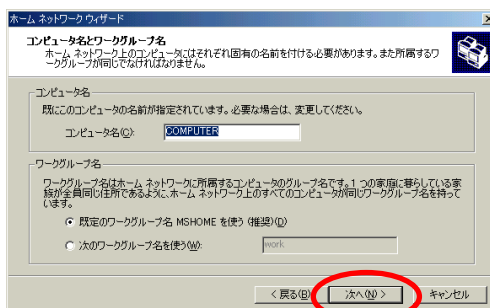


11 . [次へ] をクリックする

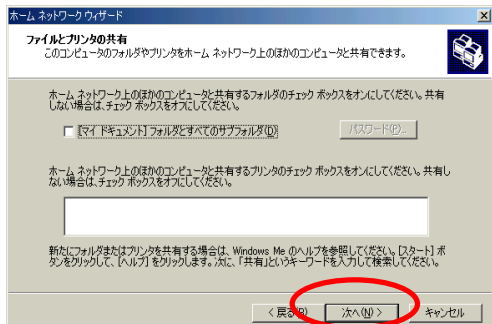
12 . [いいえ、インターネット接続を共有しない] を選択し、[次へ] をクリックする



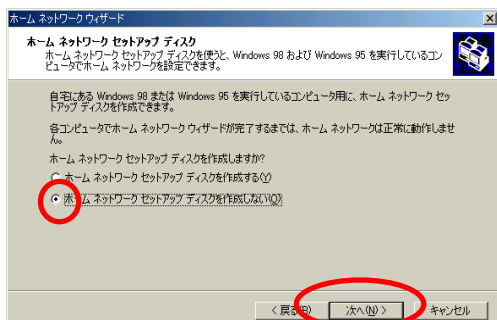
13 . そのまま [次へ] をクリックする
コンピュータ名、ワークグループ名は変更しないでください。



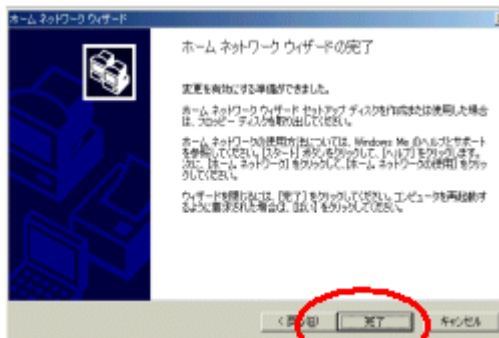
14 .[ファイルとプリンタの共有]画面が表示された場合は、そのまま[次へ]をクリックする



15 .[ホームネットワークセットアップディスクを作成しない]を選択し、[次へ]をクリックする



16 .[完了]をクリックする



17 .パソコンを再起動するよう画面が表示された場合は、画面の表示に従って再起動してください

以上でパソコンのUPnP機能は動作します。

本商品のUPnP機能の設定は、初期値で「使用する」になっています。

(本商品の設定については、本書の「2-4 本商品の設定を行う」をご覧ください。)

「アクセスマネージャ接続」でインターネットに接続し、MSN Messenger 4.6をご利用ください。

本商品の UPnP 機能が正常に動作すると、下記のアイコンが表示されますが
[マイネットワーク]の[FT5000]アイコンはご使用になれません。
インターネットへの接続は「アクセスマネージャ」をお使いください。



[マイネットワーク]画面は
デスクトップの[マイネットワーク]
をクリックすると表示されます。

UPnP機能を停止したい場合

UPnP機能を停止したい場合は、下記の2つの操作を行ってください。

- ・ P.9の手順5の[ユニバーサルプラグアンドプレイ]のチェックを外す。
- ・ アクセスポイントマネージャを起動して、[基本設定]タブの[UPnPを使用する]のチェックを外す。

【 2-4 本商品の設定を行う 】

アクセスポイントマネージャで設定します。

本商品のUPnP機能の設定は、初期値が「使用する」になっています。

画面はWindows® XPの例です。

アクセスポイントマネージャで設定する

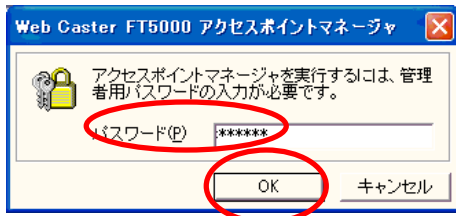
アクセスポイントマネージャは、下記のどちらかの方法で起動してください。

- ・ イージーアシスタントのメニュー画面の [アクセスポイントマネージャの起動] をクリックする。
- ・ [スタート] ボタン - [プログラム] - [Web Caster FT5000ユーティリティ] - [Web Caster FT5000アクセスポイントマネージャ] をクリックする。

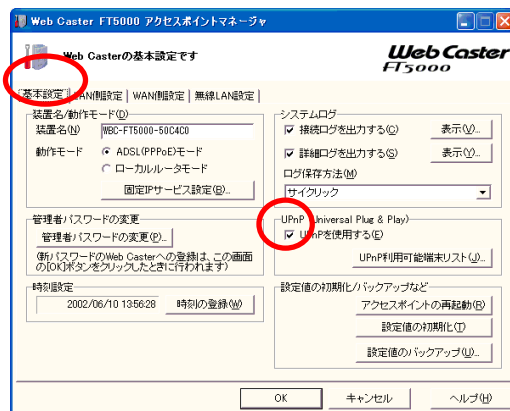
UPnP機能を設定する

1 . 上記のどちらかの方法で、アクセスポイントマネージャを起動する

2 . [管理者パスワード] を入力し、[OK] をクリックする



3 . [基本設定] タブで [UPnPを使用する] にチェックする



4 . [OK] をクリックする

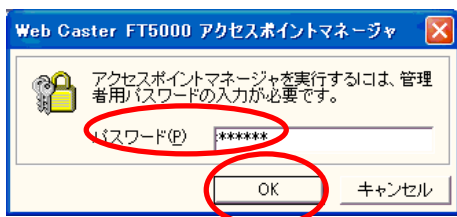
本商品の前面の各ランプが点滅し、本商品が再起動します。

UPnPの状態を確認する

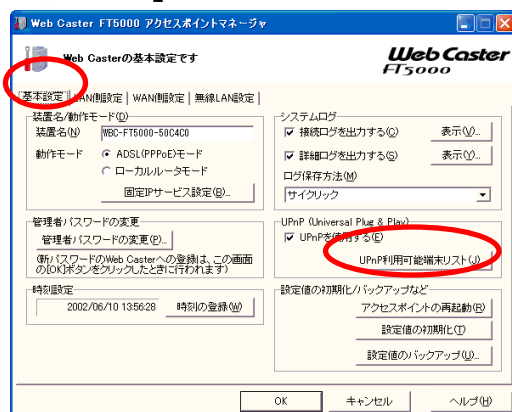
現在接続されているUPnPのパソコンのIPアドレスとMACアドレスが確認できます。

1. アクセスポイントマネージャを起動する

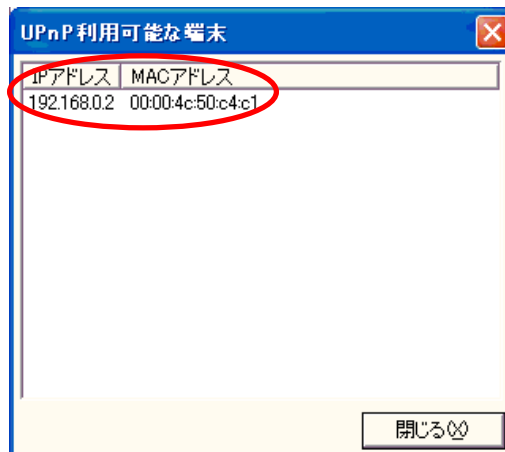
2. [管理者パスワード]を入力し、[OK]をクリックする



3. [基本設定] タブで [UPnP利用可能端末リスト] をクリックする



4. 現在接続されているUPnPのパソコンのIPアドレスとMACアドレスを確認する



<お知らせ>

ユニバーサルプラグアンドプレイを設定していなくてもDirectX8.1とMSN Messenger 4.6の両方をインストールしたパソコンが、「UPnP利用可能な端末」に表示される場合があります。

ケーブルの抜き差し、パソコンのIPアドレスの更新、本商品の設定後の再起動、バージョンアップ、電源OFF/ONのあと、本商品を検出する際に時間がかかる場合があります。(30秒程度)

しばらく待ってみても本商品が検出されない場合は、パソコンを再起動してください。

3 固定 IP アドレスを利用する（複数アドレス拡張機能）

【 3-1 固定IPアドレス（複数アドレス拡張機能）を利用するには 】

本商品では、プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定IPアドレスを本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、「グローバルIPアドレスによるサブネットワーク」を構築できます。

複数のグローバルIPアドレスを付与するサービス（固定IPサービスなど）を利用して、複数のインターネットサーバ公開などが可能になります。

<ご注意>

- 固定IPサービスを利用するとLAN側に接続されたパソコンは、インターネットから直接参照可能な状態になりますので、パソコンで十分なセキュリティ対策を実施した上でご利用ください。
- 固定IPサービスをご利用の場合は、「無通信監視タイマ」はご利用になれません。
- 固定 IP サービスは、本商品の動作モードが [PPPoE モード] の場合のみご利用になれます。

固定IPサービスをご利用になるには下記の設定が必要です。

（1） 本商品の設定

- ・固定IPサービスを利用する設定をする。
- ・DHCPサーバ機能を無効にする。
- ・本商品にグローバルIPアドレス、サブネットマスク、プライマリDNSサーバアドレス、セカンダリDNSサーバアドレスを設定する。

本商品に割り当てるグローバルIPアドレスは、プロバイダから指定されたものを使用します。

割り当てられる連続したグローバルIPアドレスのうち、最初（ネットワークアドレス）と最後（ブロードキャストアドレス）はシステムで予約されており、一般的にホストでは使用しません。

（2） パソコンの設定

- ・各パソコンにプロバイダから割り当てられたグローバルIPアドレスとネットマスクを設定します。
- ・ゲートウェイアドレス、DNSサーバのアドレスに本商品に設定したグローバルIPアドレスを設定します。

<お知らせ>

- UPnP 機能とは併用でご利用になれません。本商品の UPnP 機能の設定は、初期値で「使用する」になっていますが、設定の途中で「使用しない」に変更します。

【 3-2 本商品の設定を行う 】

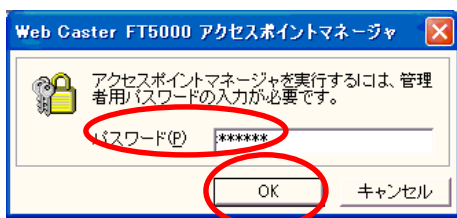
本商品の動作モードが [PPPoEモード] の場合にのみ設定できます。

アクセスポイントマネージャで設定する

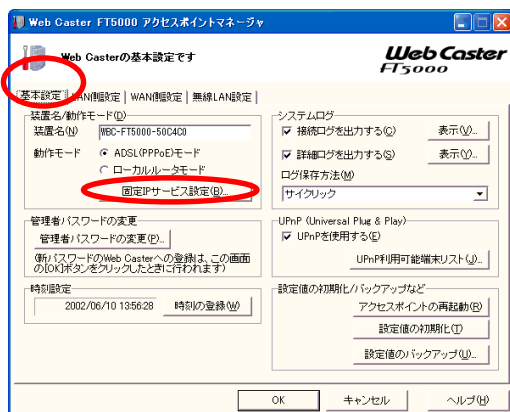
本商品の動作モードが [PPPoEモード] の場合にのみ設定できます。ここでは既に [インストール時の設定] で、インターネットの接続先を1つ登録している場合で説明します。

1. アクセスポイントマネージャを起動する

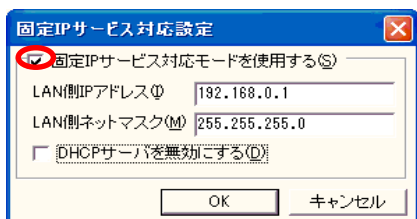
2. [管理者パスワード] を入力し、[OK] をクリックする



3. [基本設定] タブで [固定IPサービス設定] をクリックする



4. [固定IPサービス対応モードを使用する] にチェックする



5. [LAN側のIPアドレス] [LAN側のネットマスク] に本商品に割り当てるIPアドレスとサブネットマスクを入力する

例) グローバルIPアドレスを8個割り当てるサービス利用の場合

割り当てられたIPアドレス :

200.200.200.1~200.200.200.8

ネットマスク : 255.255.255.248

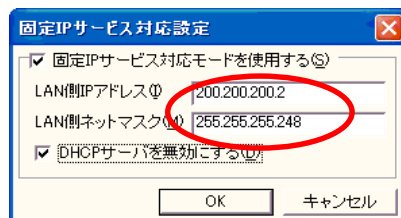
DNS : 211.211.211.1

セカンダリDNS : 211.211.222.2

本商品の設定

LAN側IPアドレス : 200.200.200.2

LAN側ネットマスク : 255.255.255.248



6. [DHCPサーバを無効にする] にチェックする

7. [OK] をクリックする

※ 警告が表示されたら、[OK]をクリックしてください。

8. [UPnP機能を使用する] のチェックを外す

※ UPnP機能と固定IPサービスは同時に使用しないでください。この設定で [UPnP機能] を [使用しない] 状態にしました。

9. アクセスポイントマネージャ画面の [OK] をクリックする

- ※ しばらく時間がかかりますのでお待ちください。(3~5分程度)
- ※ 警告が表示されたら、[OK]をクリックしてください。

10. パソコンの設定を行う

【3-3 パソコンの設定を行う】を参照してパソコンの設定を行ってください。

11. アクセスマネージャを起動する

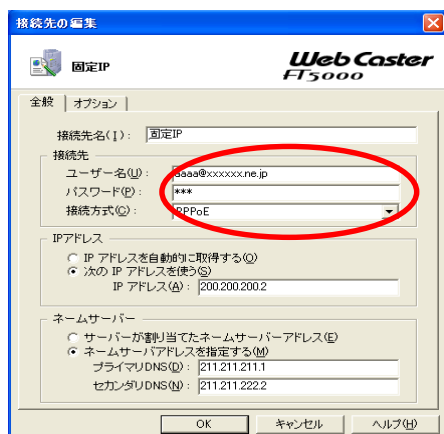
タスクトレイにあるアクセスマネージャアイコンを右クリックしてください。

12. [接続先の設定] を選択する

13. 固定IPサービスを利用したい接続先名を選択し、[接続先の編集] をクリックする

- ※ 接続先を新しく登録したい場合は、[接続先の
新規登録]をクリックしてください。

14. [接続先]、[ユーザー名]、[パスワード] を設定する



接続先：
プロバイダの名称など接続先がわかるように入力します。

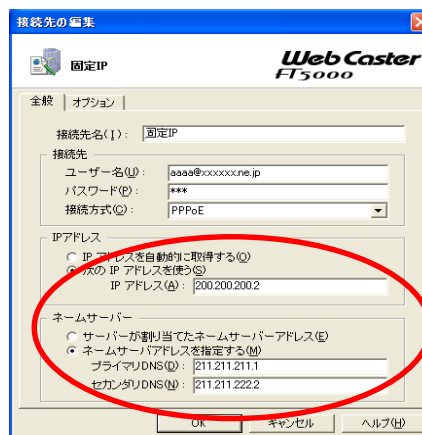
ユーザー名：
接続事業者／プロバイダの指示に従って、ユーザー名（認証ID）を入力します。

（例：認証ID@xxxxxx.ne.jpなど。@以下は事業

者によって異なります。）

パスワード：
プロバイダから割り当てられたパスワードを入力します。

15. [IPアドレス] [ネームサーバ] をプロバイダからの設定情報を見ながら



設定する

IPアドレス：

[次のIPアドレスを使う] をチェックします。

IPアドレスには、通常はプロバイダから割り当てられたグローバルIPアドレス範囲の2番目のIPアドレスを入力します。

ネームサーバ：

[ネームサーバアドレスを接続する] をチェックします。

プライマリDNS：

プロバイダから指定された、または、自分で運営している1番目のDNSサーバのIPアドレスを入力します。

セカンダリDNS：

プロバイダから指定された、または、自分で運営している2番目のDNSサーバのIPアドレスを入力します。

16. [OK] をクリックする

17. [閉じる] をクリックする

18. [はい] をクリックする

【 3-3 パソコンの設定を行う 】

お使いのパソコンのOSに応じて設定を行ってください。

Windows® XPの場合

1. [スタート] - [マイネットワーク] を選択する
2. [ネットワーク接続を表示する] を選択する
3. 本商品が接続されているネットワークアダプタ名の [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] を選択する
4. リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
5. [インターネットプロトコル (TCP/IP) プロパティ] 画面で下記のように設定する
 - ・ IP アドレス : プロバイダから割り当てられた IP アドレスのうち、他のパソコンや本商品に設定した IP アドレス以外を入力する (例 : 200.200.200.3)
 - ・ サブネットマスク : プロバイダから割り当てられたパソコンのサブネットマスクを入力する
 - ・ ゲートウェイ : 本商品に割り当てたグローバル IP アドレスを指定する (例 : 200.200.200.2)
 - ・ DNS 設定 : 「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックし、優先 DNS サーバに本商品に割り当てたグローバル IP アドレスを指定する (例 : 200.200.200.2)
6. [OK] をクリックする
7. [閉じる] または [OK] をクリックする

Windows® Me/98の場合

1. [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] の [ネットワーク] を開き、リストの中の [TCP/IP -> (ネットワークアダプタの名称)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
2. [TCP/IP] 画面で次のように設定する
 - ・ IP アドレス : プロバイダから割り当てられた IP アドレスのうち、他のパソコンや本商品に設定した IP アドレス以外を入力する (例 : 200.200.200.3)
 - ・ サブネットマスク : プロバイダから割り当てられたパソコンのサブネットマスクを入力する
 - ・ ゲートウェイ : 本商品に割り当てたグローバル IP アドレスを指定する (例 : 200.200.200.2)
 - ・ DNS 設定 : DNS を使う、本商品に割り当てたグローバル IP アドレスを指定する。 (例 : 200.200.200.2)
ホスト名には他のパソコンと重複しない名前を任意で入力する
3. [OK] をクリックする
4. [OK] をクリックする
5. 画面の指示に従ってパソコンを再起動する

Windows® 2000 の場合

1. [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] をダブルクリックする
2. 本商品を接続しているネットワークアダプタ名の [ローカルエリア接続] を選択し、[ファイルメニュー] の [プロパティ] をクリックする
3. リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
4. [インターネットプロトコル (TCP/IP) プロパティ] 画面で下記のように設定する
 - ・ IP アドレス : プロバイダから割り当てられた IP アドレスのうち、他のパソコンや本商品に設定した IP アドレス以外を入力する (例 : 200.200.200.3)
 - ・ サブネットマスク : プロバイダから割り当てられたパソコンのサブネットマスクを入力する
 - ・ ゲートウェイ : 本商品に割り当てたグローバル IP アドレスを指定する (例 : 200.200.200.2)
 - ・ DNS 設定 : 「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックし、優先 DNS サーバに
本商品に割り当てたグローバル IP アドレスを指定する。
(例 : 200.200.200.2)
5. [OK] をクリックする
6. [OK] をクリックする